

REP-#153



船のディーゼルエンジンの主エンジンブロックのNo.1シリンダに経年と振動の為に生じた数ヶ所の亀裂はMM-メタルSSスチールセラミックと硬化剤(黄)で塞がれました。シリンダ・ジャケットは上側の部分に各々135mm, 215mmの長い垂直なクラック、125mmの長さ、及び更なる2つのクラックが生じていました。補修が行われた7年後でも、修理された船のエンジンは問題なく稼働中です。「極端に難しい修理は、私達のオランダのパートナー企業(EMHA technisch bureau b.v.)、そして、タイの船会社のメトロックによって行われました。